

平成31年 4月15日
 中部地方整備局
 港湾空港部

クルーズ船寄港実績調査 【3月の速報値】

- ・2019年3月の中部地方整備局管内(愛知県、三重県及び静岡県)の港湾へのクルーズ船寄港回数は、16回でした。(対前年同月10回)。
- ・内訳は、名古屋港11回(同5回)、清水港2回(同3回)、鳥羽港1回(同0回)、尾鷲港1回(同0回)、三河港1回(同1回)でした。
- ・3月は、初寄港の実績が多く3回ありました。
 中部管内で初めて三重県の尾鷲港にクルーズ船「にっぽん丸」が初寄港しました。
 また、名古屋港にフェニックス・ライゼン社の「アルバトロス」、三河港にプリンセス・クルーズ社の「ダイヤモンド・プリンセス」が初寄港しました。

1. 中部におけるクルーズ船寄港回数実績調べ<平成31年3月末>

港名	クルーズ船月別寄港回数													
	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
名古屋港	H31	0	2	11 (7)										13 (7)
	H30	3	1	5 (5)	2 (1)	6 (6)	2 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (3)	4 (2)	4	5 (5)	40 (29)
清水港	H31	0	1	2 (1)										3 (1)
	H30	2 (2)	0	3 (2)	10	2 (1)	0	0	2	1	7	3 (1)	2 (1)	32 (7)
四日市港	H31	2 (2)	0	0										2 (2)
	H30	2 (1)	0	1 (1)	0	1 (1)	1	0	2 (2)	1	1	3 (2)	1 (1)	13 (8)
鳥羽港	H31	1 (1)	0	1 (1)										2 (2)
	H30	1 (1)	0	0	1 (1)	0	0	0	4 (4)	0	1	0	0	7 (6)
津松阪港	H31	0	0	0										0
	H30	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (1)	0	0	1 (1)	2 (2)
尾鷲港	H31	0	0	1 (1)										1 (1)
	H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三河港	H31	0	0	1										1
	H30	0	0	1 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (1)
熱海港	H31	0	0	0										0
	H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (1)	1 (1)
合計	H31	3 (3)	3	16 (10)										22 (13)
	H30	8 (4)	1	10 (9)	13 (2)	9 (8)	3 (2)	2 (2)	11 (9)	6 (4)	13 (2)	10 (3)	10 (9)	96 (54)

※平成30年・平成31年にクルーズ船が1回以上寄港した港を対象、沖泊も寄港回数に含む。

※()書きは邦船社が運航する船舶の寄港回数で内数。

2. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、豊橋市政記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、三重県政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、四日市港湾記者クラブ、津市政記者クラブ、港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

3. 問い合わせ先

中部地方整備局港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室
 室長 黒川 利樹也 (くろかわ りきや)
 課長補佐 久野 賢二 (くの けんじ)
 電話 052-209-6330 (直通)、FAX 052-203-9739

中部管内クルーズトピックス(3月)

尾鷲港にクルーズ船「にっぽん丸」初寄港！（2019年3月8日）

商船三井客船の「にっぽん丸」が3月8日（金）、尾鷲港に初寄港しました。「にっぽん丸」は7日に横浜港を出港し、4日間のツアーの途中で尾鷲港に立ち寄り、沖合約2.5キロに停泊し、乗客約300人がテンドーボートで港に移動しました。その場には多くの市民が歓迎し、停泊した「にっぽん丸」を写真に収めていました。市は歓迎式典を行い、にっぽん丸のゼネラルマネージャーに尾鷲市長が尾鷲ヒノキ製の盾を手渡す姿や和太鼓で迎える様子も見られました。「にっぽん丸」側からは返礼品として寄港記念のプレートが送られました。今回の寄港は、にっぽん丸を所有する商船三井客船が、県内の新たな寄港地として、津、松阪、尾鷲の港に立ち寄るプランを企画したもので、乗船客は熊野古道の馬越峠や市内の散策やアジのすしなど尾鷲の食を堪能しました。



にっぽん丸
総トン数：22,472t
全長：166.65m
総乗客定員：524名

にっぽん丸(沖泊)



テンドーボートで上陸の様子



歓迎式典の様子



和太鼓のセレモニー

名古屋港にクルーズ船「アルバトロス」初寄港！（2019年3月24日）

フェニックス・ライゼン社が運行する外国クルーズ船「アルバトロス」が3月24日（日）、名古屋港ガーデン埠頭(3号岸壁)に初寄港し、船内で歓迎式典が行われました。日本と韓国、中国を巡るクルーズの途中で、横浜港から寄港しました。同日15時、和太鼓演奏（高校生以上の和太鼓チーム「熱響打楽 Jr」と小学生の和太鼓チーム「Studio燦-sun-キッズ」）の華やかな見送りを受けて大阪港へと出港しました。



アルバトロス
総トン数：28,518t
全長：205.46m
乗客定員：821名

アルバトロス(名古屋港ガーデン埠頭)



ガーデン埠頭3号岸壁に接岸したアルバトロス



写真提供：名古屋港利用促進協議会

歓迎式典



写真提供：名古屋港利用促進協議会

お見送りの和太鼓演奏

三河港(蒲郡)にクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」初寄港！(2019年3月27日)

プリンセス・クルーズが運行するクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が、乗客約2,700人を乗せて3月27日に三河港蒲郡ふ頭11号岸壁に初寄港しました。三河港へのクルーズ船は、昨年の3月以来1年ぶりで、一昨年より3回、日本船社の300~400人を乗せたクルーズ船が寄港してきたが、初めて外国船社の船となり、乗客、乗員約4,000人と、これまでにない規模となり、朝から夕方まで岸壁は大勢の市民らの見学者でにぎわった。

蒲郡市や観光関係者でつくる三河港蒲郡地区クルーズ客船受入協議会(蒲郡市土木港湾課)が中心になり、誘致を行い綿密に準備が進められた成果が今回の初寄港となりました。

3月26日に横浜港を出発し、蒲郡、大阪、高知、韓国釜山、四日市に寄港して横浜へ戻る「輝く春の三河・大阪・土佐・伊勢と韓国」9日間のクルーズ。当日の歓迎式典では、蒲郡市長、愛知県知事らが歓迎の挨拶を述べ、その後、船長と記念品の交換、鏡開きを行いました。

乗船客は、竹島や岡崎、豊川稲荷など寄港地観光を楽しんだ。岸壁では、飲食ブース(7店舗)、物販(土産)ブース(11店舗)や無料Wi-Fiブースも用意され、ステージでは若獅子会の舞や空手の演武も披露されました。

16時にジュニア吹奏楽団による演奏と大勢の来場により出港を見送りました。

また、当日、一般の方を対象に三河港湾事務所と三河港務所が、船からクルーズ船を眺める「クルーズ客船海上見学会」を開催し180名の来場があり、クルーズ船の寄港や蒲郡の観光資源や着岸した岸壁の整備などを説明し、みなとを知ってもらう機会となった。

今回のクルーズ船誘致の結果、「ダイヤモンド・プリンセス」は来年の4月3日と11月12日にも三河港蒲郡ふ頭への寄港が予定されている。



ダイヤモンド・プリンセス
総トン数: 22,472t
全長: 290m
乗客定員: 2,706名

ダイヤモンド・プリンセス(三河港蒲郡ふ頭11号岸壁)



歓迎式典記念撮影



見学者で賑わう岸壁



クルーズ客船見学会の様子



ジュニア吹奏楽団による演奏



お見送り